

令和 7 年度予算主要事業の概要 (事業別説明資料)

消防本部



目 次

持続可能な消防団組織の追求	3
庁舎等照明設備のＬＥＤ化＜共通項目＞	4

拡充 持続可能な消防団組織の追求

1 事業費（単位：千円）

【財源内訳】

【主な使途】

ゼロ予算

（前年度予算 0）

2 事業背景・目的

飛騨市消防団は、市の人口減少及び少子高齢化に比例して基本団員が減少し、団員の高齢化が進んでいます。今後も消防団を維持していくためには若い世代の新規入団者が必要ですが、現在20代男性の入団割合は約12%（30代は約26%）、21～25歳では約7パーセントに留まっています。

これまでも持続可能な消防団組織を目指し「NEO（新しい）飛騨市消防団」をキャッチフレーズに、団員とその家族の負担軽減を図るとともに、実践的な訓練により消防団活動の満足度を上げる取り組みを行ってきました。

令和7年度は、これまでの取り組みを継続・深化させるとともに、これから消防団を担う（支える）若い世代の市民が消防団活動に求めるニーズを調査し、新入団員確保に向けた新たな政策に繋げることで、魅力ある持続可能な消防団組織を追求します。

併せて、将来を見据えた部の統廃合や、女性消防団員及び災害支援団員の充実強化を図ります。

3 事業概要

① 【新規】若い世代を対象としたアンケート調査の実施

消防団やその活動に対する意識調査のため、消防団に入団していない20代から30代の市民（ランダムに500名抽出）を対象にアンケート調査を実施します。アンケートでは、消防団に対する認知度やイメージ、ニーズなど幅広い項目を調査し、そのアンケート結果を基に、「持続可能な消防団組織の追求」に向けた政策の立案に繋がります。

② 【拡充】「NEO（新しい）飛騨市消防団」の取組みの推進

消防操法に代わる実践的な訓練である「飛衛消火訓練」については、さらに効果的で団員満足度の高い訓練方法を追求すると共に、女性消防団員がどの分団でも所属できる選択肢があることを広く周知し新入団員確保に繋げて行きます。

併せて、災害支援団員には各種訓練への参加を義務付け、新たな知識・技術を維持できる体制を維持し、継続の基準を明確にすることで災害対応能力の強化を図ります。

担当課：消防本部総務課（☎0577-73-6198）

扩充

【主な使途】

(前年度予算